

学校法人立命館 様

2016年度異文化理解セミナー・モンテレイ工科大学旅程行程書

アエロメヒコ航空 (AM) 利用

日次	月日曜	発着地/滞在地名	発着現地時間	交通機関	通名	摘要	食事
往路	2017年 2/5 (日)	伊丹空港発 羽田空港発 成田空港発 メキシコシティ発 メキシコシティ発 グアダハラ発	09:00 10:10 15:25 12:50 15:00 16:21	NH18 AM57 AM228		空路、羽田空港へ リムジンバスで成田空港へ 乗継、メキシコシティへ 乗継、グアダハラへ 到着ロビーにて出迎え	× 機 機
往路	3/5 (日)	メキシコシティ発	00:21	AM58		空路、成田空港へ	機
	3/6 (月)	成田空港着 羽田空港発 伊丹空港着	06:20 10:00 11:10	NH019		リムジンバスで羽田空港へ 乗継、伊丹空港へ 到着	機

発着日時及び交通機関は変更になる場合があります。
日本国内線は変更になる場合があります。



Week 1	6-Feb-17 Monday	7-Feb-17 Tuesday	8-Feb-17 Wednesday	9-Feb-17 Thursday	10-Feb-17 Friday	11-Feb-17 Saturday	12-Feb-17 Sunday
10:00 - 11:30	Orientation Session	Grammar Course	Grammar Course	Grammar Course	Grammar Course	Trip to Puerto Vallarta Departure: (6:00am)	
11:30 - 01:00	Campus Tour	Composition Course	Composition Course	Composition Course	Composition Course		
01:00 - 02:30	Welcome Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch		
02:30 - 04:00	Guadalajara Downtown Tour	Conversation	Conversation Course	Conversation Course	Conversation Course		

Week 2	13-Feb-17 Monday	14-Feb-17 Tuesday	15-Feb-17 Wednesday	16-Feb-17 Thursday	17-Feb-17 Friday	18-Feb-17 Saturday	19-Feb-17 Sunday
10:00 - 11:30	Grammar Course	Grammar Course	Tequila Tour Hacienda San José del Refugio (08:30am)	Grammar Course	Grammar Course	Tlaquepaque Tour (09:30am)	
11:30 - 01:00	Composition Course	Composition Course		Composition Course	Composition Course		
01:00 - 02:30	Lunch	Lunch		Lunch	Lunch		
02:30 - 04:00	Conversation Course	Conversation Course		Conversation Course	Conversation Course		
04:00 - 05:30	Special Session Mexican Culture	Special Session Mexican Culture		Special Session Mexican Culture			

Week 3	20-Feb-17 Monday	21-Feb-17 Tuesday	22-Feb-17 Wednesday	23-Feb-17 Thursday	24-Feb-17 Friday	25-Feb-17 Saturday	26-Feb-17 Sunday
10:00 - 11:30	Grammar Course	Grammar Course	Grammar Course	Grammar Course	Grammar Course	Free Weekend Optional Trip Guanajuato (Departure 06:00am)	
11:30 - 01:00	Composition Course	Composition Course	Composition Course	Composition Course	Composition Course		
01:00 - 02:30	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch		
02:30 - 04:00	Conversation Course	Conversation Course	Conversation Course	Conversation Course	Conversation Course		

Week 4	27-Feb-17 Monday	28-Feb-17 Tuesday	1-Mar-17 Wednesday	2-Mar-17 Thursday	3-Mar-17 Friday	4-Mar-17 Saturday	5-Mar-17 Sunday
10:00 - 11:30	Grammar Course	Grammar Course	Grammar Course	Grammar Course TEST	Mexico DF Trip		
11:30 - 01:00	Composition Course	Composition Course	Composition Course	Composition Course TEST			
01:00 - 02:30	Lunch	Lunch	Lunch	Farewell Lunch			
02:30 - 04:00	Conversation Course	Conversation Course	Conversation Course	Conversation TEST			
				Departure to Mexico DF		Departure to Japan	

2016年度海外留学プログラム 参加者報告書

この報告書に記載された情報は国際教育センターにて管理をし、今後のプログラム改善の参考や、プログラムに関する情報提供に利用します。以上の目的以外には使用せず、成績評価にも影響しません。

プログラム	異文化理解セミナーモンテレイ工科大学			
公開しても差し支えなければ、以下に氏名、学部、連絡先、回生、性別を記入してください。				
学部/研究科	法学部	回生	2	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
氏名	E-mail			

※以下、回答は、該当するものにチェックをつけ、記述はできるだけ具体的に記入してください。

1. 現地での講義について

①講義の内容など

内容、使用教材、テストについて:

授業は文法、作文、コミュニケーションの3つ。文法の授業は直接法の現在形、点過去、線過去、再帰動詞、gustar動詞。一部点過去と線過去の違いについても授業があったが、ほんの少しだけでテストにも大きくは取り上げられなかった。授業内容自体は簡単ではあるが語彙が不足すると、先生の説明がわからないことが多い。作文の授業では少しだけ過去完了と[ir+不定詞]を使った未来形にも触れた。自分の街の事や自己紹介、伝記などを現在形、点過去、線過去を主に使って行った。コミュニケーションの授業では買い物での会話など、定型的な会話や、家具や国籍の名前などの練習を行った。コミュニケーションのクラスでは英語が半分以上使われた。一週間のみ行われたメキシコ文化の授業では、9割英語を使った授業が行われた。

クラス数と受講人数(クラス分け方法)、本学以外の学生の参加:

男女9名ずつの18名の参加で、9名ずつの2クラスに分けられた。授業の初日に会話形式によるクラス分けテストが行われて分けられた。ただ、上のクラスに振り分けられた人数が圧倒的に少なかったために人数調整が行われた。その調整方法は不明だが、2回生以上は全員上のクラスに振り分けられた。

コメントと次年度参加者へのアドバイス:

授業自体は特に難しいことはありません。法学部の授業で1回生終了までの文法知識があれば十分に授業についていけると思います。ただ、2回生以上でも語彙は全く足りていなかったのでスペイン語の単語帳などを買って勉強しておくのが良いと思います。

②現地研修語によるレポート・プレゼンテーションなど

取り組んだテーマ:

人類の発明品について、それがいつどこで誰に発明されたか、それが発明される前の生活はどうだったかについて2, 3分程度のプレゼン。インターナショナルフェアにおいて、有名ではないが外国人に向けて紹介したい日本の良いもの・文化についてグループで100語程度。

事前準備・現地でのリサーチ方法:

スマホを主に使ったインターネットでのリサーチ。発明品についてのプレゼンテーションは1回の授業内で準備発表もすべて行う簡易なもの。インターナショナルフェアで行われたプレゼンではワードやパワーポイントを使って資料を作成し、それを授業担当の先生に送ってコピーしてもらったものを画用紙を買ってそれに張り付けた。発表はフェアにおいて壁に貼り付けて来客に見てもらう程度でこちらから説明することはなかった。聞かれた場合は答えることもあるかもしれない。

コメントと次年度参加者へのアドバイス:

特に緊張することはありません。やり方も担当の先生が指示してくれるので、その通りに行ない、それぞれが着実に準備をしてください。準備期間は一週間はありますが、準備する量はワード、パワーポイントでポスターを一枚作る程度なので十分あると思います。ノートパソコンが必要になるので持っていくとよいと思います。無くて教室内に一つある先生用のパソコンで行うこともできますが、時間制限がついてくるので自分のパソコンがあった方が便利であると思います。

2. フィールドトリップについて

行き先・行程について:

一週目: プエルトバジャルタ。二週目: テキーラ、トラケパケ。三週目: グアナファト。最終週: メキシコシティ。プエルトバジャルタは小さいバスでの移動。移動時間は片道6, 7時間程度。ビーチに行く予定だったが移動の遅れによりキャンセル。主にホテルに滞在。ホテル内にプールもあり、ビーチも目の前にある。夜はオプション(今回は400ペソ)でディスコに行くこともできる。ここは完全にリゾートであり、休暇。2週目のテキーラ、トラケパケはともに日帰りで移動手段は同じく小さいバス。移動時間はそれぞれ片道1~2時間程度。テキーラはテキーラ工場見学。ここで土産のテキーラを買う人が多かった。トラケパケは博物館、街並み歩きツアー。民芸品などを買うことができる。3週目のグアナファトはオプションで今回は3712ペソ。移動手段はこれまでと同じで、移動時間は片道7時間程度。いくつかの美術館、博物館に行く。また夜はオプションで街歩きツアー(100ペソ)と夜景を見に行った。夜景は夜中の12時を過ぎたころに行ったが気を付けていけば特に危ないことはなかった。ただし15分程度。最終週のメキシコシティは、スーツケースなどの荷物をすべて持っていくため日本の夜行バスのような大きなバスで移動。移動時間は10時間以上かかった。11時出発の夜間の移動。翌朝10時頃にホテルに到着し、小休憩をはさんだあとダウタウンツアーで街並み観光や美術館を巡った。2日目はホテルをチェックアウトして、太陽と月のピラミッドへ同じバスで移動。観光後、市内へ戻り国立人類学博物館へ行った。出発、解散はそれぞれ大学。

フィールドトリップについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス(携行品等):

全体的に移動が長い。バスで座ったまま寝ることが多くなると思うので、100均などで買える簡易まくらなどがあるとよいと思います。3週目のオプションで行くグアナファトの料金は決して安くはありません。現金で支払う必要があるため、日本から持っていくお金を考えるときに、日本にいるときにいくらかかるかの確認しておく必要があると考えます。メキシコシティはグアダハラよりも十分に注意しなければいけない土地です。集団で移動するときは集団から離れないように移動すること、すりなどの手口をある程度調べておくことをお勧めします。フィールドトリップが毎週末に入ってくるので休みが取れません。今後のプログラムがどうなるかはわかりませんが、少なくともフィールドトリップ前日や帰ってきた日は早めに寝るなどの対策を取るとよいと思います。

4. 現地学生・スタッフとの交流イベント等について

内容:

インターナショナルフェア

次年度参加者へのアドバイス(あらかじめ用意したほうがよいもの、服装・靴など):

書道用具は必須。歩くことが多いので歩きやすい靴があるとよいと思う。

5. 事前学習について

事前に学習しておいてよかったこと

メキシコの簡単な歴史について。英語での説明になるので全く前情報がないと困る。

事前に学習しておけばよかったと思うこと

語彙

6. その他

① 今回のプログラム費用以外に、現地で使った費用はいくら位ですか？

・使ったお金	日本円	85000円	または	現地通貨	13000ペソ	くらい	<input checked="" type="checkbox"/>	十分だった
・持参したお金	日本円	80000円	または	現地通貨	11000ペソ	くらい	<input type="checkbox"/>	不十分だった

② 主にお金はどのように持参しましたか？(複数回答可)

現金 トラベラーズチェック クレジットカードを利用 国際キャッシュカードを利用
 その他()

③ どこで現地通貨に両替しましたか？(複数回答可)

予め日本の銀行で 出発時、日本の空港で 到着後、現地の空港で 現地の大学構内にある銀行で
 その他(大学近くの両替所。ただしドルのみ可)

お金・現地物価についてのコメント

現地で両替したいならドルがないとまず不可能。現金が必要になることがあります(オプションの支払いなど)。テキーラや大量にお土産を買うときなどはクレジットを使うことをお勧めします。

④ 持参したほうが良いもの、不要なものがあれば教えてください。

必要なもの

ノートパソコン(数人なくても何とかなるが全員持ってないとそれは困る)。ウィンドブレーカーなど薄手の上着。ダウンでは暑い、風を遮るものがないと寒い。クレジットカード。

不必要なもの

個々の生活スタイルにもよるが、朝晩が日本の秋の朝ほどに寒いので短パンは必要ないかと思う。

⑤ 実際にプログラムを体験しての感想や、来年度参加者へのアドバイス、メッセージ等記入してください。

Uber(ウーバー、スペイン語ではウーベル)という一般人ドライバーが登録している、タクシーのように使える移動手段があります。タクシーより安全と言われていて、安価です。大学から家まで3.8kmで30ペソ前後でした。ほぼ間違いなく主流な移動手段となるので、日本で携帯アプリを取得し登録しておくことをお勧めします。現金での支払いも可能ですが、お釣で困ることがあるので、クレジットカードを登録しておく方が便利でしょう。このUberですが、インターネット環境がないと使えません。何の装備もない状態では、大学内とホームステイ先、一部飲食店で飲食をした場合のみでないwifiがなく、Uberが呼べないこととなります。課業後ショッピングセンターに行きたい、レストランに行きたいというのならポケットwifiを、同じホームステイ先の人と相談して、家に一つは持っていくとよいと思います。向こうで現金が必要になることがあります。オプションツアーや、大学の日本語教員の方が連れて行ってくれる食事(任意参加)などです。特にオプションツアーではまとまった額が必要になります。今回オプションツアーのグアナファトで3712ペソ、食事は1回200ペソで計4回、ディスコなどその他を合わせて500ペソほど。合計で5000ペソほど現金でないで払えないことがありました。オプションの料金は変動すると思いますので、日本にいる間に値段を聞いて持っていくお金の量を考えてください。日本円をドルに換金して持っていき、向こうでドルをメキシコペソに換金した方が率が良いと言われます。が、同じ日のレートで計算していないので正確ではありませんが、日本で日本円をメキシコペソに換金するのとあまり差はないと思います(多少有利だと思いますが絶対的優位ではないので)現金を持ち出す手間や安全性を心配するなど個人の判断でよいかと思えます。ただし、向こうで換金したい場合、日本円を換金してくれるところは空港くらいのもので、空港は車で1時間以上離れたところにあるため、急に必要になったときに簡単に両替をしに行けません。その場合は手持ちにドルが必要になります。グアダハラ、特に大学の近くにいる限り、変に怖がるほど治安が悪いわけではありません。ただし車優先社会なので車が危険です。横断歩道がないこともあります。自分たちの2年前には交通事故も起きているようなので特に注意が必要だと思います。

今後、募集説明会や事前ガイダンス、留学フェアなどを行う場合に、協力(体験談を話すなど)をお願いできますか？

協力してもよい 協力できない

7. 写真提供のお願い

プログラム紹介のための写真の提供をお願いします。

写真をこのページに添付してください。



2016年度海外留学プログラム 参加者報告書

この報告書に記載された情報は国際教育センターにて管理をし、今後のプログラム改善の参考や、プログラムに関する情報提供に利用します。以上の目的以外には使用せず、成績評価にも影響しません。

プログラム	異文化理解セミナーモンテレイ工科大学
-------	--------------------

公開しても差し支えなければ、以下に氏名、学部、連絡先、回生、性別を記入してください。

学部/研究科	産業社会	回生	1	<input type="checkbox"/> 男	<input checked="" type="checkbox"/> 女
氏名			E-mail		

※以下、回答は、該当するものにチェックをつけ、記述はできるだけ具体的に記入してください。

1. 現地での講義について

①講義の内容など

内容、使用教材、テストについて:

現地で書き込み式の教科書のようなものを配布され授業では主にその教科書とプリントを使った。授業はペアワークやゲームなどがありそこまで難しくはなかった。テストは最後に受けるファイナルテストと先生によっては授業時に小テスト。

クラス数と受講人数(クラス分け方法)、本学以外の学生の参加:

事前にオンラインでテストを受け、現地では初日に簡単な面接を受けた。クラスは2クラスあり、レベル別に分かれた。本学以外の学生の参加はなかった。

コメントと次年度参加者へのアドバイス:

毎日3限まで(10時~15時半くらい)文法、スピーキングなどの授業を受ける。最初は何を言っているのかさっぱりわからず英語に頼ることも多かったが授業中に電子辞書を用いてかたっぱしから調べたり頑張ってコミュニケーションを取ろうとしたらスペイン語がだいぶ上達したように思う。宿題はほぼ毎日どのクラスでも出たが苦にならない程度。放課後図書館やテラスに集まって宿題や復習をした。

②現地研修語によるレポート・プレゼンテーションなど

取り組んだテーマ:

コミュニケーションのクラスで簡単なプレゼンテーションを行った。テーマは出身地についてだった。

事前準備・現地でのリサーチ方法:

パソコンを持って行ってなかったのが友達に貸してもらいパワーポイントで作った。リサーチ方法はもっぱらインターネットで行った。

コメントと次年度参加者へのアドバイス:

スマホだけで十分と思っていたが授業でパソコンを使うこともあるので余裕があれば持っていくことをおすすめする。

2. フィールドトリップについて

行き先・行程について:

プエルトバジャルタ、グアナフアト、テキーラ工場、トラケバケ、メキシコシティに週末行った。ホテルに宿泊したり日帰りだったり、行き先で変わる。グアナフアトはオプションで行きたい人だけ追加で料金を支払ったが、結局全員行った。この料金はキャッシュで支払うので金欠になる人もいた。私たちの世話をみってくれる大学の職員の人々が毎回付き添ってくれたが、現地でガイドさんが合流することも多かった。

フィールドトリップについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス(携行品等):

オプションツアーは一泊二日で3712ペソで結構な出費だった。行く人数にもよるが結構な出費なので行くかどうかはよく考える必要がある。行き先にかかわらず移動はバスで行った。何時頃に帰ってくるのか、向こうでの滞在時間、どんなところでどんなことをするのかを細かく確認して行くことが大事。観光での食事代は自分で支払うのでその分の用意も必要。大学のあるグアダハラは治安が良いが観光先ではスリなどに注意が必要。今回もメキシコシティでお財布をすられた人がいた。

3. 現地の環境について

① 現地キャンパスについて

自習環境について

自由に図書館が使える。

その他の施設・設備についてコメントと次年度参加者へのアドバイス:

スタバ、サブウェイなどからオクソー(コンビニ)、カフェテリア、図書館、ジム、バスケット、バレーコート、プールなど施設が充実していた。これらの施設は自由に使える。

② 住居について(当てはまるものにチェック)

・住居は? 寮 ホームステイ その他()

・食事は? 自炊 食堂 外食 ホスト提供 その他()

・食費は? <平日> プログラム費用に含む 朝食 昼食 夕食
 別途実費負担

<休日> プログラム費用に含む 朝食 昼食 夕食
 別途実費負担

・寝室は? 1人部屋 相部屋(2名でシェア→ルームメイトは 立命館生 現地学生 その他)

・共有施設は? キッチン トイレ シャワー 無し(すべて自分/ルームメイト専用)

・洗濯は? ランドリー: 有 無 洗濯機の使用: 可 不可 洗濯してくれた

家族構成or寮の住人の構成は? :

高校生の息子、中学生の娘、小学生の息子とホストマザー、メキシコ人の大学生2人

寮orホームステイについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス:

休日の食事は観光先で「食べる」ことがほとんど。ホームステイ先では積極的に話しかけることが大切。困ったことや伝えたいことがあれば臆せず伝えること。

<2箇所以上に滞在した場合は、上欄と同じ内容を他の箇所について記入>

③ パソコン・インターネット環境について(当てはまるものにチェック)

・PCの利用場所は? 大学 (___ 台あり) ホームステイ先・寮 その他()

・ノートパソコンは日本から持参しましたか? 持参した 持参しなかった

・インターネットへのアクセスは? 自室から可能 大学から可能 不可能
 一定の場所から可能()

・日本語ソフトは? 読める 入力できる 読み・入力ともに可能 どちらも不可能

・Wi-Fiは利用可能? 大学で可能 寮・ホームステイ先で可能 不可能
 一定の場所から可能()

その他持参した電子機器・プラグ・変圧器などあれば記入ください:

・持参したもの 電子辞書 役に立った 役に立たなかった

・持参したもの _____ 役に立った 役に立たなかった

・持参したもの _____ 役に立った 役に立たなかった

その他()

その他気付いた点と次年度参加者へのアドバイス:

電子辞書は毎日使うので交換用の電池は絶対に必要。

4. 現地学生・スタッフとの交流イベント等について

内容:

向こうの大学で日本語を教えている先生が自分の生徒と日本人の交流ということで4回ほど食事会を開いてくださった。その先生が平日の放課後、ルチャリブレ(プロレスショー)にもつれていってくださいました。

次年度参加者へのアドバイス(あらかじめ用意したほうがよいもの、服装・靴など):

日中は日差しが強いが朝晩は肌寒いので、厚手のパーカー、カーディガンなど羽織れるものがあったほうが良い。靴は歩きやすい運動靴が必要。

5. 事前学習について

事前に学習しておいてよかったこと

事前に学習しておけばよかったと思うこと

もっと日常で使う単語を覚えていけば良かった。

6. その他

① 今回のプログラム費用以外に、現地で使った費用はいくら位ですか？

・使ったお金 日本円 または 現地通貨 くらい 十分だった
・持参したお金 日本円 または 現地通貨 くらい 不十分だった

② 主にお金はどのように持参しましたか？(複数回答可)

現金 トラベラーズチェック クレジットカードを利用 国際キャッシュカードを利用
 その他()

③ どこで現地通貨に両替しましたか？(複数回答可)

予め日本の銀行で 出発時、日本の空港で 到着後、現地の空港で 現地の大学構内にある銀行で
 その他()

お金・現地物価についてのコメント

円からペソに換えるよりドルからペソにした方がお得。クレジットカードがあれば便利。

④ 持参したほうが良いもの、不要なものがあれば教えてください。

必要なもの

日焼け止め、サングラス、インスタントの日本食、ムヒ、ウェットティッシュ、化粧水。

不必要なもの

⑤ 実際にプログラムを体験しての感想や、来年度参加者へのアドバイス、メッセージ等記入してください。

このプログラムに参加する前はメキシコに対するイメージは決していいとは言えなかった。なんだかマフィアとか麻薬とかがいっぱいで危なそうな国という印象だった。しかし、実際に行ってみると私たちの拠点となるグアダハラは治安がよく、大学にもフツーに徒歩で通っていた。このプログラムに参加して実際に体験することの大切さを学んだ。日本にいてネットで調べただけではわからないメキシコをたくさん知れたと思う。授業やトリップなど結構英語を使う機会が多かった。また英語が出来る人の方がやはり上達は早い印象を受けた。服などは現地のショッピングモールで買えるので荷物を減らすために必要最低限のものを持っていけば大丈夫だと思う。メキシコの食事は結構美味しいものが多かったがやはり一週間も過ぎると日本食が恋しくなり、そういう時にインスタントの味噌汁を飲むとホッとするので余裕があれば持っていくことをおすすめします。出発前には単語量を増やすこと、音楽などでスペイン語に耳を慣らすこと、メキシコの歴史を少しでも学ぶこと(ガイドさんの説明が理解しやすくなる)をおすすめします。メキシコではカルチャーショックを受けることも多かったが親切な人も多く、危険だと思うことは少なくとも私はなかった。刺激的で貴重な体験がたくさんできた。行くかどうか迷っている人には是非参加をおすすめする。

今後、募集説明会や事前ガイダンス、留学フェアなどを行う場合に、協力(体験談を話すなど)をお願いできますか？

協力してもよい 協力できない

7. 写真提供のお願い

プログラム紹介のための写真の提供をお願いします。
写真をこのページに添付してください。

2016年度海外留学プログラム 参加者報告書

この報告書に記載された情報は国際教育センターにて管理をし、今後のプログラム改善の参考や、プログラムに関する情報提供に利用します。以上の目的以外には使用せず、成績評価にも影響しません。

プログラム	異文化理解セミナーモンテレイ工科大学
-------	--------------------

公開しても差し支えなければ、以下に氏名、学部、連絡先、回生、性別を記入してください。

学部/研究科	産業社会	回生	1	<input checked="" type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女
氏名			E-mail		

※以下、回答は、該当するものにチェックをつけ、記述はできるだけ具体的に記入してください。

1. 現地での講義について

①講義の内容など

内容、使用教材、テストについて:

一限 文法 二限 作文 三限 会話 一限ではモンテレイ工科大学から配られたテキストを使用。

クラス数と受講人数(クラス分け方法)、本学以外の学生の参加:

18人このプログラムに参加し、二つのクラスに9人ずつ分かれた。クラス分け方法は先生とスペイン語での質問形式の面談であった。例えば、出身地や趣味や、昨日何をしていたのか、などを問われた。立命館以外の参加はあまりなかった。

コメントと次年度参加者へのアドバイス:

先生からの質問はとても簡単な内容でした。しかし、なかなか聞き取ることが出来なかったり、うまく言葉に表すことが出来なかったので、日本で少しはスペイン語で質疑応答に慣れていくべきだと思った。また、過去形を使っているかのウエイトがクラス分けの多くを占めていると思った。

②現地研修語によるレポート・プレゼンテーションなど

取り組んだテーマ:

一限、二限では、メキシコに来る前のメキシコに対してのイメージと、メキシコに来てからのイメージを最終日のフェアで説明した。また、二限では日本の偉人5人をペアになって考えた。そして、三限では、出身地のプレゼンを行った。例えば、県の大きさ、特産品、伝統工芸品、主要な食べ物などたくさんジャンルの説明をした。

事前準備・現地でのリサーチ方法:

事前準備は特にしなかった。

コメントと次年度参加者へのアドバイス:

日本の文化などを説明する機会が多くあったので、メキシコに行く前に日本について今以上に詳しくなる必要がある。なかなか、日本についての説明で、言葉に詰まる瞬間が多かった気がする。

2. フィールドトリップについて

行き先・行程について:

1週目 プエルトバジャルタ 土曜の朝学校に集合して、バスで向かい、日曜の夕方に戻ってくる。2週目 テキーラ村 土曜の朝に学校に集合しバスで向かい、土曜の夕方に戻ってくる。トラケパケ 日曜の朝に学校に集合し、夜に戻ってくる。3週目 グアナフアトゥ 土曜朝6時に学校に集合し、日曜の夕方に戻ってくる。最終週 メキシコシティ 木曜日の夜にバスで出発し、車中泊し、土曜日の夕方に空港へ向かう。

3. 現地の環境について

①現地キャンパスについて

自習環境について

とても整っていて勉強に適していると思った。それは、雨が全く降らないおかげで、外で勉強するのが当たり前となっていて、開放的であったから。

その他の施設・設備についてコメントと次年度参加者へのアドバイス:

ジムを週3程度で通っていた。大学から初日にもらうアクセスカードを提示すれば、いつでもジムが利用できる。授業で疲れて、ちょっと気持ちを入れ替えるにはいいと思う。ジムに行こうとする人は、シューズとタオルを持参する。

②住居について(当てはまるものにチェック)

・住居は? 寮 ホームステイ その他()

・食事は? 自炊 食堂 外食 ホスト提供 その他()

・食費は? <平日> プログラム費用に含む 朝食 昼食 夕食
 別途実費負担

<休日> プログラム費用に含む 朝食 昼食 夕食
 別途実費負担

・寝室は? 1人部屋 相部屋(___ 名でシェア→ルームメイトは 立命館生 現地学生 その他)

・共有施設は? キッチン トイレ シャワー 無し(すべて自分/ルームメイト専用)

・洗濯は? ランドリー: 有 無 洗濯機の使用: 可 不可 洗濯してくれた

家族構成or寮の住人の構成は?:

ホストファミリーとマザー二人。メキシコ、スペイン、オーストラリアからの3人の留学生がいた。

寮orホームステイについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス:

僕は日本人1人で、他は日本人が3人や4人だったので、みんなで予定を合わせて行動しなければならないのが面倒くさいと思った。ホームステイ先は大学が決めるので何も言えないが、ホームステイ先によって自由時間や、通学時間が違ってくるので、そこは運との勝負ですね。

<2箇所以上に滞在した場合は、上欄と同じ内容を他の箇所について記入>

③パソコン・インターネット環境について(当てはまるものにチェック)

・PCの利用場所は? 大学 (___ 台あり) ホームステイ先・寮 その他()

・ノートパソコンは日本から持参しましたか? 持参した 持参しなかった

・インターネットへのアクセスは? 自室から可能 大学から可能 不可能
 一定の場所から可能()

・日本語ソフトは? 読める 入力できる 読み・入力ともに可能 どちらも不可能

・Wi-Fiは利用可能? 大学で可能 寮・ホームステイ先で可能 不可能
 一定の場所から可能()

その他持参した電子機器・プラグ・変圧器などあれば記入ください:

・持参したもの 電子辞書 役に立った 役に立たなかった

・持参したもの ホームステイ先の使い捨てスリッパ 役に立った 役に立たなかった

・持参したもの サングラス 役に立った 役に立たなかった

その他()

その他気付いた点と次年度参加者へのアドバイス:

変換プラグを持参したが、日本と同じプラグの型だったので何も心配することはないと思う。

4. 現地学生・スタッフとの交流イベント等について

内容:

次年度参加者へのアドバイス(あらかじめ用意したほうがよいもの、服装・靴など):

5. 事前学習について

事前に学習しておいてよかったこと

事前に学習しておけばよかったと思うこと

6. その他

① 今回のプログラム費用以外に、現地で使った費用はいくら位ですか？

・使ったお金	日本円	80000円	または	現地通貨	14000ペソ	くらい	<input checked="" type="checkbox"/>	十分だった
・持参したお金	日本円	50000円	または	現地通貨	8000ペソ	くらい	<input checked="" type="checkbox"/>	不十分だった

② 主にお金はどのように持参しましたか？(複数回答可)

現金 トラベラーズチェック クレジットカードを利用 国際キャッシュカードを利用
 その他()

③ どこで現地通貨に両替しましたか？(複数回答可)

予め日本の銀行で 出発時、日本の空港で 到着後、現地の空港で 現地の大学構内にある銀行で
 その他()

お金・現地物価についてのコメント

お金はなるべく多めに持っていった方がよい。友達に借りて、日本円で返していたので、友達に迷惑を掛かかったのでやめた方がよい。現地の物価は日本に比べて、1/2 or 1/3ぐらいだったので日本人にとってはとても過ごしやすかった。

必要なもの

モバイルwi-fi 必ず友達と割り勘してでもいいので、一人一人がwifiを使える環境がほしい。

不必要なもの

⑤ 実際にプログラムを体験しての感想や、来年度参加者へのアドバイス、メッセージ等記入してください。

メキシコに行く前はとても不安でした。見知らぬ地に行くし、ホームステイ先は日本人は僕一人だし、スペイン語は通じるのかとたくさんの不安がありました。ホームステイ先に着いて最初の方はスペイン語で伝えようとしてくれたが、後々英語で話すようになってしまいました。英語の方が伝わるだろうとホストマザーは考えていたらしく、そこでスペイン語でなんとか伝えてやる！とやる気がかなり湧きました。このプログラムを通して、現地の文化や日本と違った風習などを学べて楽しかったです。また、同じホームステイ先の留学生には朝毎回送ってもらったり、観光に連れて行ってもらったり、パーティーにも参加させてくれたりと、素晴らしい友達を作ることが出来ました。ホストマザーとお別れよりも、その留学生との別れの方が辛かったぐらいです。とても良い経験が出来ました。僕はスペイン語を使って、北米と中南米の国々のスポーツビジネスをやりたいと考えていたので、その思いが強くなり、ますますスペイン語を話せるようになりたいという、とてもとてもよいきっかけになりました。来年度参加者へ とりあえず最初は不安であると思うけど、そのうち慣れてくることはみんな知っていることだから、最初からガンガン勉強して、スペイン語で話していれば1か月という短い期間ではあるけど、有意義な時間になると思います。怖がらず、まずスペイン語で話してみよう！！

今後、募集説明会や事前ガイダンス、留学フェアなどを行う場合に、協力(体験談を話すなど)をお願いできますか？

協力してもよい 協力できない

7. 写真提供のお願い

プログラム紹介のための写真の提供をお願いします。
写真をこのページに添付してください。



2016年度海外留学プログラム 参加者報告書

この報告書に記載された情報は国際教育センターにて管理をし、今後のプログラム改善の参考や、プログラムに関する情報提供に利用します。
以上の目的以外には使用せず、成績評価にも影響しません。

プログラム	異文化理解セミナーモンテレイ工科大学
-------	--------------------

公開しても差し支えなければ、以下に氏名、学部、連絡先、回生、性別を記入してください。

学部/研究科	国際関係学部	回生	1	<input type="checkbox"/> 男	<input checked="" type="checkbox"/> 女
氏名			E-mail		

※以下、回答は、該当するものにチェックをつけ、記述はできるだけ具体的に記入してください。

1. 現地での講義について

①講義の内容など

内容、使用教材、テストについて:

2つある中の下のレベルのクラスだったので、最初の方は日本で勉強した内容の復習であったが、あいさつなどの基礎から学ぶことができたので、自分のレベルに合っていた。使用教材やテストにも難しさは感じなかった。

クラス数と受講人数(クラス分け方法)、本学以外の学生の参加:

1クラスの受講人数はちょうど良かったと思うが、学生のスペイン語のレベルの差が大きく、クラス分けに先生方も悩んでいて、3クラスに分けても良かったと思う。

コメントと次年度参加者へのアドバイス:

スペイン語に自信がなくても、基礎から教えてくれるので、不安は感じなかった。授業はほとんどすべてスペイン語で、こちらがあまりにも理解していないときは英語でも説明してくれた。

②現地研修語によるレポート・プレゼンテーションなど

取り組んだテーマ:

日本の有名人についてスペイン語で紹介するレポート、自分の出身地についてのプレゼンテーション

事前準備・現地でのリサーチ方法:

スマートフォンやパソコンを使用した。

コメントと次年度参加者へのアドバイス:

レポートやプレゼンテーションを作る際、スマートフォンや大学内のパソコンを使用し作成することも可能だが、自分の持ち運びが可能なパソコンがあれば、使用機会は少ないがあったほうが便利だと思う。またUSBも使うので必要。

2. フィールドトリップについて

行き先・行程について:

1週目の週末に西海岸のプエルト・バジャルタのビーチ沿いのリゾートホテルに宿泊、2週目の土曜日はテキーラ村でテキーラ工場見学、日曜日にトラケパケで陶器の美術館見学や街の観光、3週目の週末はグアナファトで街の観光や博物館見学などをし、最後の2日間は首都のメキシコシティへ移動し、フリーダ・カーロの家をはじめとする観光地を巡った。

フィールドトリップについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス(携行品等):

平日に毎日授業がある上に、毎週末きつぎつのスケジュールでの行動だったので疲れが溜まったが、メキシコを満喫することができたので良かったと思う。常にバス移動で、道も悪いので、酔い止めが必要。泊まりもあるので、小旅行用のバッグがあるといい。またプエルト・バジャルタでは海やプールにも入れるので、水着を持ってくるといいと思う。

3. 現地の環境について

①現地キャンパスについて

自習環境について

大学のキャンパス内は図書館やパソコンなど基本的に全て使用することができ、Wi-Fiも完備されているので、自分のパソコンも使うことができる。屋外にたくさんテーブル席があるので、外で勉強できるというのが新鮮でとても楽しかった。

その他の施設・設備についてコメントと次年度参加者へのアドバイス:

ジムも自由に使えるので、日本での大学生生活とそんなに変わりはない。

②住居について(当てはまるものにチェック)

・住居は? 寮 ホームステイ その他()

・食事は? 自炊 食堂 外食 ホスト提供 その他()

・食費は? <平日> プログラム費用に含む 朝食 昼食 夕食

別途実費負担

<休日> プログラム費用に含む 朝食 昼食 夕食

別途実費負担

・寝室は? 1人部屋 相部屋(2名でシェア→ルームメイトは 立命館生 現地学生 その他)

・共有施設は? キッチン トイレ シャワー 無し(すべて自分/ルームメイト専用)

・洗濯は? ランドリー: 有 無 洗濯機の使用: 可 不可 洗濯してくれた

家族構成or寮の住人の構成は?:

ホストファザー、ホストマザー、ホストシスター(23)、ホストブラザー(21)、メキシコ人下宿生2人、デンマーク人留学生

寮orホームステイについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス:

私のステイ先では、最初シャワーのボイラーが壊れていて水しか出ず、家族に伝えたら直してシャワーヘッドも変えてくれて、それからはなんの不自由のない生活ができたので、アドバイスとしては、我慢できないことは家族にはっきりと伝えた方がいい。また私たちは日本食を家族のみんなに作って振る舞うと、とても喜んでくれた。

<2箇所以上に滞在した場合は、上欄と同じ内容を他の箇所について記入>

③パソコン・インターネット環境について(当てはまるものにチェック)

・PCの利用場所は? 大学 (___ 台あり) ホームステイ先・寮 その他()

・ノートパソコンは日本から持参しましたか? 持参した 持参しなかった

・インターネットへのアクセスは? 自室から可能 大学から可能 不可能

一定の場所から可能()

・日本語ソフトは? 読める 入力できる 読み・入力ともに可能 どちらも不可能

・Wi-Fiは利用可能? 大学で可能 寮・ホームステイ先で可能 不可能

一定の場所から可能(ショッピングモールやスターバックス)

その他持参した電子機器・プラグ・変圧器などあれば記入ください:

・持参したもの _____ 役に立った 役に立たなかった

・持参したもの _____ 役に立った 役に立たなかった

・持参したもの _____ 役に立った 役に立たなかった

その他()

その他気付いた点と次年度参加者へのアドバイス:

プラグは日本と同じなので必要ない。携帯やパソコンの充電器は大抵海外対応なので変圧器等は使わなかった。ドライヤーも海外で利用可能のものを使用した。

4. 現地学生・スタッフとの交流イベント等について

内容:

大学で日本語を教えている日本人の先生が毎週現地生徒の食事会を企画してくれ、ルチャ・リブレというプロレスにも連れて行っていた。学校最終日にはインターナショナル・フェアのようなものがあり、留学生が自分たちの国を紹介するイベントで、日本コーナーはとても人気があり、そこでたくさん話したり、知り合ったりした。私個人としては、校内で困っていた私に話しかけてくれた学生と仲良くなり何回か出かけたり、ショッピングモールで知り合った人とも出かけた。たりした。

次年度参加者へのアドバイス(あらかじめ用意したほうがよいもの、服装・靴など):

日本語の先生曰く、今年は特別現地生徒の交流が少なかったそうで、知り合う機会も限られているので、自分から話しかけるのは難しいと思うが、みんな珍しがって話しかけてくれるので恥ずかしがらずに接するべき! 少し綺麗な服や靴があると夜遊びに誘われた時に使えるかも。

5. 事前学習について

事前に学習しておいてよかったこと

挨拶や、自分や家族の紹介の練習。

事前に学習しておけばよかったと思うこと

メキシコの文化をもっと知っておけば、もっと面白かったと思う。

6. その他

① 今回のプログラム費用以外に、現地で使った費用はいくら位ですか?

・使ったお金 日本円 または 現地通貨 くらい 十分だった
・持参したお金 日本円 または 現地通貨 6000ペソ くらい 不十分だった

② 主にお金はどうのように持参しましたか? (複数回答可)

現金 トラベラーズチェック クレジットカードを利用 国際キャッシュカードを利用
 その他()

③ どこで現地通貨に両替しましたか? (複数回答可)

予め日本の銀行で 出発時、日本の空港で 到着後、現地の空港で 現地の大学構内にある銀行で
 その他()

お金・現地物価についてのコメント

物価はとても安く、ペットボトルの水で約42円とかそれくらいだった。安い分、私の場合はついつい買いすぎてしまったが、あまり買い物しない人や土産だけで十分と言う人はそんなに使わないと思う。だが、食事会やフィールドトリップのお金等は現金で支払いになり、観光地や屋台では現金の方が使い勝手がいいため、私の場合はデビットカードが引き出すことができたが、現金が足りず食事会にも参加できなくなってしまった子もいたことから、少し多めに現金を持って行った方がいいかもしれない。

④ 持参したほうが良いもの、不要なものがあれば教えてください。

必要なもの

除菌ウェットティッシュ、携帯用除菌ジェル、サングラス、動きやすい服装(ジムも自由に使用可能)、水着、ポケットWi-Fi(学校やホームステイ先、ショッピングモール等以外にはめったにフリーWi-Fiはない)、ナイトアウト用の服・靴、ノート、電子辞書、虫除け、上着(朝、夜は冷える)

不必要なもの

変換プラグ、変圧器、傘(雨は一度も降らなかった)

⑤ 実際にプログラムを体験しての感想や、来年度参加者へのアドバイス、メッセージ等記入してください。

日本の大学での授業では特別成績が良かったわけでもなく、まったく自信のないままメキシコに到着したが、案外なんとかなるもので、最初がホストファミリーの言ってることもほとんどわからず、ジェスチャーや表情(と少しの英語)で会話していたようなものだったが、学校で授業を受けているうちに慣れてきて、家でも(重要なことや急いでいた時はつい英語になってしまったが)話す時はスペイン語を心がけた。人見知りで普段は初めての人と話すのは得意でないが、メキシコのゆっくりとした空気と、明るく情熱的(?!)な人々、素敵な文化に触れ、穏やかな気持ちになり、緊張せず多くの人と話すことが、みんな笑顔で挨拶をしたら笑顔で返してくれるし、毎日が楽しくなった。メキシコのスペイン語はスペインのスペイン語とけっこう違うところがあり、困惑もしたがすぐに慣れた。移動手段は大体Uberというタクシーのようなものを利用し(タクシーより安い、綺麗)、運転手ともスペイン語で会話しなければならなく、彼らはとても早口で喋ってこちらに理解させようという気がなくなに言ってるかわからなかったが、それも面白い経験となった。治安が悪いことを不安に思ってる方も多いと思うが、私たちが通った大学やホスト先の周辺は比較的治安の良い場所で、自分自身が気をつけていれば問題はないと思う。ただ、高価なものは身につけず、お財布や荷物に気を配り、夜には絶対に一人で出歩かず、日中もできるだけ集団行動をするなど用心するべき。特に街中に行く時は現地人といっしょに行った方がいい。また、お腹を壊した人も多かったので食べ物に気をつけ、除菌を常に心がけるべきだと思う。私自身は向こうで風邪をひいてしまい1週間ほど鼻水がひどかったこと以外は特に困ったこともなく、不自由もなかったのも、とても充実した一ヶ月となった。

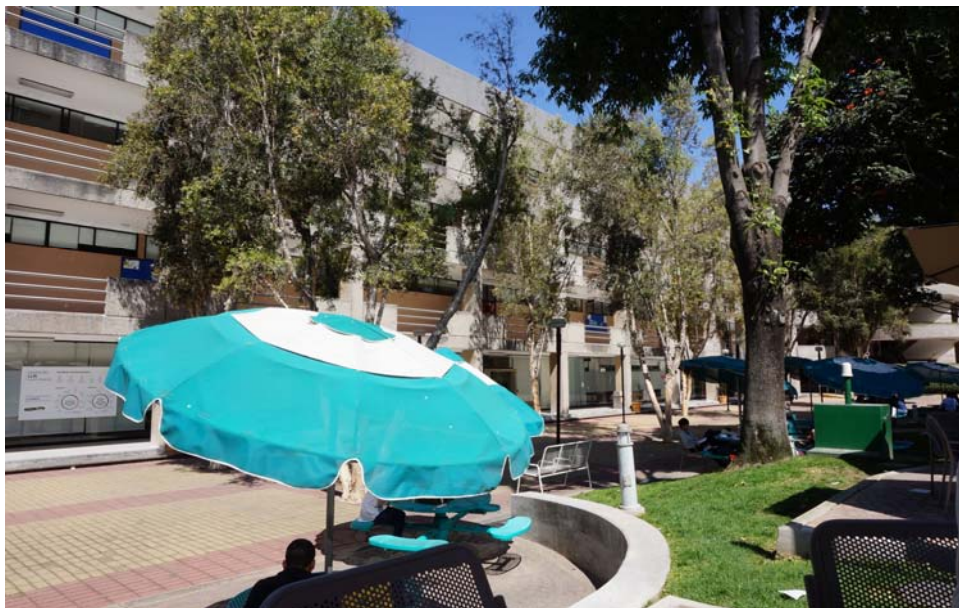
今後、募集説明会や事前ガイダンス、留学フェアなどを行う場合に、協力(体験談を話すなど)をお願いできますか?

協力してもよい 協力できない

7. 写真提供のお願い

プログラム紹介のための写真の提供をお願いします。

写真をこのページに添付してください。



2016年度海外留学プログラム 参加者報告書

この報告書に記載された情報は国際教育センターにて管理をし、今後のプログラム改善の参考や、プログラムに関する情報提供に利用します。以上の目的以外には使用せず、成績評価にも影響しません。

プログラム	異文化理解セミナーモンテレイ工科大学
-------	--------------------

公開しても差し支えなければ、以下に氏名、学部、連絡先、回生、性別を記入してください。

学部/研究科	文学部	回生	2回生	<input type="checkbox"/> 男	<input checked="" type="checkbox"/> 女
氏名			E-mail		

※以下、回答は、該当するものにチェックをつけ、記述はできるだけ具体的に記入してください。

1. 現地での講義について

①講義の内容など

内容、使用教材、テストについて:

授業で受けた内容はすでに日本で学んでいたことだったので新しいものはなかった。しかしテキストに出てくる新しい単語がたくさんありテストに向け理解し、活用を覚えるのが少し苦労したが非常に難しかったという問題はなかった。

クラス数と受講人数(クラス分け方法)、本学以外の学生の参加:

私のクラスは初日に簡単なオーラルテストでクラスが分けられ2つあるうちの上のクラスに振り分けられた。クラスは9人クラスで1限から3限まで全て同じクラスであった。うち1名は2限のみクラス変更でもう一つのクラスで授業を受けていた。本学生徒以外の学生の参加はなく、現地の先生の教え子さんが一度遊びにきてくれたくらいである。それは授業を共に受けるといよりその学生さんがメキシコ文化を教えてくれるものであった。

コメントと次年度参加者へのアドバイス:

クラス分けにそこまで不満はないが、もう少し発展的な内容であっても良かったのではないかと考える。知っていることを使えるようにするのはもちろん大切なことだが現地でしか習えないようなフレーズもたくさんあったのでもう少しコミュニケーションのクラスなどで学生同士の交流などがあればよかったと思う。次年度へのアドバイス:慣れないスペイン語で授業も全てスペイン語というような授業もあったが、わからなかったら先生もわかるように努力をして教えてくれ、間違っていたら違うと指摘してくれるので間違えることわからないということを恥だと思わず積極的に授業に取り組むことが大切であると学ぶことができ、そのおかげで毎日の授業が楽しかったので怖がらず積極的に取り組んでほしいと思う。

②現地研修語によるレポート・プレゼンテーションなど

取り組んだテーマ:

飛行機を発明したライト兄弟について

事前準備・現地でのリサーチ方法:

インターネットを使ったりサーチ

コメントと次年度参加者へのアドバイス:

一つの授業内でやったものなのでそんなに難しい内容のものではない。なのでいつも通り調べて、スペイン語に直せば先生も間違いを指摘してくれるので心配はしなくていいと思います。

2. フィールドトリップについて

行き先・行程について:

毎週末1泊2日であつたり日帰りで訪れていた。行き先はグアダハララの観光地であつたりリゾート地であつた。

フィールドトリップについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス(携行品等):

観光地ではたくさんのお土産を見る場所があるのに、お土産を見て買う時間という非常に少なかった。誰に何を買うかなどリサーチしていなかったので限られた少ない時間で行動するにはある程度お土産を買う人などの目星、もしくは何を買いリサーチして何が有名か知っていたらもう少し楽になるかもしれないと考える。それにしても歴史を見て現地ガイドから説明を受けるのが大半で自由時間というのが本当に少なかったなのでその行程をもう少し考えてほしい。

3. 現地の環境について

① 現地キャンパスについて

自習環境について

全ての設備がとても立派に作られていて私たちも自由に使えるので快適であった。

その他の施設・設備についてコメントと次年度参加者へのアドバイス:

ネット環境や食堂、購買のような店、コンビニ、自主学習で使える快適な図書館などたくさんあるので有効に使うべきである。

② 住居について(当てはまるものにチェック)

・住居は? 寮 ホームステイ その他()

・食事は? 自炊 食堂 外食 ホスト提供 その他()

・食費は? <平日> プログラム費用に含む 朝食 昼食 夕食
 別途実費負担

<休日> プログラム費用に含む 朝食 昼食 夕食
 別途実費負担

・寝室は? 1人部屋 相部屋(2名でシェア→ルームメイトは 立命館生 現地学生 その他)

・共有施設は? キッチン トイレ シャワー 無し(すべて自分/ルームメイト専用)

・洗濯は? ランドリー: 有 無 洗濯機の使用: 可 不可 洗濯してくれた

家族構成or寮の住人の構成は?:

ホストマザーと娘さんの家庭に韓国人とドイツ人の留学生が1人ずついた。

寮orホームステイについてのコメントと次年度参加者へのアドバイス:

私たちの家は学校から1時間かかるところだったが(徒歩とバス合計)慣れれば問題なく使えるようになる。

<2箇所以上に滞在した場合は、上欄と同じ内容を他の箇所について記入>

③ パソコン・インターネット環境について(当てはまるものにチェック)

・PCの利用場所は? 大学 (___ 台あり) ホームステイ先・寮 その他()

・ノートパソコンは日本から持参しましたか? 持参した 持参しなかった

・インターネットへのアクセスは? 自室から可能 大学から可能 不可能
 一定の場所から可能()

・日本語ソフトは? 読める 入力できる 読み・入力ともに可能 どちらも不可能

・Wi-Fiは利用可能? 大学で可能 寮・ホームステイ先で可能 不可能
 一定の場所から可能()

その他持参した電子機器・プラグ・変圧器などあれば記入ください:

・持参したもの 電子辞書 役に立った 役に立たなかった

・持参したもの iPad 役に立った 役に立たなかった

・持参したもの _____ 役に立った 役に立たなかった

その他()

その他気付いた点と次年度参加者へのアドバイス:

バスを使う方は日本のような時刻表がなくいつくるかもわからないし、道路も凹凸が激しかったりするので余裕を持った行動で学校には向かいましょう。私たちは時間的には1時間で行ける距離ではあったが何があるかわからないので1時間30分前には家を出て学校には授業開始30分前には着いているようにしていた。

4. 現地学生・スタッフとの交流イベント等について

内容:

現地の日本人教師の方が自分の教え子の方と食事会を開いてくださった。

次年度参加者へのアドバイス(あらかじめ用意したほうがよいもの、服装・靴など):

現地でも友達ができるので、日本から何か面白いグッズを持って行ったりお土産としてプレゼントすると話の話題にもなるし、とても喜んでくれる。

5. 事前学習について

事前に学習しておいてよかったこと

事前に学習しておけばよかったと思うこと

スペイン語のリスニング。

6. その他

① 今回のプログラム費用以外に、現地で使った費用はいくら位ですか？

・使ったお金 日本円 または 現地通貨 くらい 十分だった
・持参したお金 日本円 または 現地通貨 くらい 不十分だった

② 主にお金はどのように持参しましたか？(複数回答可)

現金 トラベラーズチェック クレジットカードを利用 国際キャッシュカードを利用
 その他()

③ どこで現地通貨に両替しましたか？(複数回答可)

予め日本の銀行で 出発時、日本の空港で 到着後、現地の空港で 現地の大学構内にある銀行で
 その他(大学近くにあるドルの両替所でドルをペソに換金した。)

お金・現地物価についてのコメント

物価は安いので買ってしまおうので帰りに持って帰れるようにスーツケース2個でくるや大きめのポストンバッグを持参するなどした方が
良い

④ 持参したほうが良いもの、不要なものがあれば教えてください。

必要なもの

不必要なもの

⑤ 実際にプログラムを体験しての感想や、来年度参加者へのアドバイス、メッセージ等記入してください。

環境に恵まれていて本当に楽しかったので積極的になることを恐れないでほしい。そうすることで友達もたくさんできるし、幅が広がる。
また一緒にいったメンバーみんなで協力しあっていったので仲もとても深まった。私たちには日本人ガイドではなく、現地のガイドさんが
英語とスペイン語で説明するだけで分からないことは聴き合うなどしていたのでそれ良い思い出である。モンテレイプログラムでマイナ
スなことなど一つもなかったので存分に楽しんでほしい。

今後、募集説明会や事前ガイダンス、留学フェアなどを行う場合に、協力(体験談を話すなど)をお願いできますか？

協力してもよい 協力できない

7. 写真提供のお願い

プログラム紹介のための写真の提供をお願いします。
写真をこのページに添付してください。

